

三重県入札等監視委員会 審議概要（令和3年度 第3回）

開催日及び場所	令和3年11月30日(火)14:00～16:30 Web会議システムにて開催	
出席委員	委員長 木本 凱夫 副委員長 堤 大三 委員 山田 梨津子 委員 山崎 美幸 委員 加藤 拓也 委員5名中5名出席	
審議対象期間	令和3年7月1日から令和3年9月30日	
抽出案件	総件数 5件	(備考)
一般競争入札	3件	
指名競争入札	2件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	特になし	

入札等監視委員会 令和3年度 第3回定例会（令和3年11月30日）	
意見・質問	回答
入札・契約事案の審議について	
工事名 ① 二級河川堀切川(堀切川排水機場)延命化対策(ポンプ設備)工事〔鈴鹿建設事務所〕	
<p>・過年度の類似工事で、落札率が今回の工事より低いものがあるが、なぜそのような差が生じるのか。</p> <p>・本工事は長寿命計画に基づくものであるが、この計画が平成28年度～令和33年度と非常に長期間に及ぶのはなぜか。これ程長期間だと機器の耐用年数とほぼ同じではないのか。</p> <p>・入札公告別表3の「設計業務の受託者」の役割は何か。</p>	<p>・同じ形式のポンプでも、内燃機関の構造が異なる(ガスタービン、ディーゼルエンジン等)ためではないかと推測される。</p> <p>・国土交通省から提示されている長寿命化計画作成の手引きに基づき、計画の期間を設定している。長寿命化計画は、耐用年数が来るまでに少しずつ整備することで機器の耐用年数を延ばすことを目的としている。</p> <p>・今回の工事を発注をするにあたり設計業務を行った業者である。今までの点検での不具合の分析等を行い、修繕計画を作成した。</p>
工事名 ②③ 一般県道須賀利港相賀停車場線(相賀橋) 橋梁更新(迂回路設置)工事(その1)及び(その2)〔尾鷲建設事務所〕	
<p>・入札参加資格を満たす業者が96者と多数いるにも関わらず、入札参加業者が2者にとどまったのはなぜか。</p> <p>・なぜ別の場所に迂回路を設けて、今ある橋を一気に架け替えるのではなく、今の橋のすぐ下流側に仮橋を設置し、元の位置に新しい橋をつけ、仮橋は撤去するという、より多くコストと時間がかかりそうな方法をとるのか。</p> <p>・その1工事を落札した業者が、その2工事の審査集計表で「無効」となっているのはなぜか。</p>	<p>・工種が多岐に及んでいること、仮橋の設置は非出水期に行う必要があり工期面での制約を受けること等を勘案し、参加を見送った業者が多かったのではないかと推測される。</p> <p>・違う場所に仮橋を架けるとなると、道路が直線でなくなり流れが悪くなってしまうことに加え、周辺の人家への影響や建物の移転等、地域の負担を考慮し、この方法を選択した。</p> <p>・本案件は一括審査方式を採用しているため、最初の入札で落札候補者となった業者を2つ目の入札では「無効」という扱いで外し、それ以外の業者の中から落札候補者を選ぶため。</p>
工事名 ④ 木曾岬干拓地整備事業 環境影響検討業務委託〔桑名地域防災総合事務所〕	
<p>・技術提案の点差で落札者が決まった印象だが、具体的にどのような提案を高く評価したのか。</p> <p>・令和2年度の評価方法書を作成した業者と、それを基に行う本業務の落札業者が同じだが、本業務は別の業者でも遂行可能なものなのか。</p> <p>・指名業者の中で途中辞退した業者がいるが、どのタイミングで辞退したのか。</p>	<p>・環境保全の措置に対する立案提案が重要なポイントとなった。環境負荷が少ない提案をするためには幅広い知識や総合力が必要であり、深い考察のあった提案を高く評価した。</p> <p>・方法的に他の業者でも遂行可能である。特定の業者が有利になるような評価方法書にはなっていない。</p> <p>・本案件は見積徴収型で、入札前に指名業者から見積徴収をするが、見積書を提出しない段階で、それ以降に参加する権利がなくなった。</p>
工事名 ⑤ 三重県管理橋梁 点検業務委託(その2)〔道路管理課〕	
<p>・県外業者を指名したのは何故か。県内業者では難しいという判断があったのか。</p> <p>・点検する6橋梁は、どういう基準でセットにしたのか。</p> <p>・指名業者の辞退が多かった理由は何か。</p>	<p>・新技術の活用や、特殊橋の点検というところで、全国的な知見や、どのように業者が点検しているかも把握したかったため、県外で全国的に展開している業者を指名した。</p> <p>・点検対象になる特殊な橋梁を、ある程度地域ごとにまとめた。</p> <p>・国等でも点検業務を発注している関係から、点検技術者を確保するのが難しかったと考えられる。</p>
その他	